

## 編集後記

「私の東谷津構想」



絶滅危惧種のホトケドジョウを殖やす池作りに始まって、作業の中で見えて来たことを踏まえて、動きの中に無駄のない空間を創って行きたい。ぬかるむ事のない川沿いの道、池周り、階段は山側にも作り、滑って怪我をしないよう、手を入れて行くつもりだ。履物や道具の洗い場は、長靴はもちろん靴で来た人でも使い心地の良いものを目指した。東谷津での「飯能市手つなぐ育成会」との係わりの中、多くの母と子の参加を望みピザをみんなで作って食べられるように石窯作りを考えた。熱した窯の

## やませみ

57

発行日/2010年5月15日  
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会  
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)

埼玉県飯能市柳町18-17

●機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。

●「やませみ」へのご意見をお寄せください。  
投稿もお待ちしています。

URL=<http://www.tenranzan.com/>  
E-mail=tenta@tenranzan.com

## 会員募集中!!

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

\*年会費 ●正会員……普通会員 2,000円  
特別会員10,000円

●賛助会員………1口10,000円

\*会費・カンパ送り先  
郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

中へピザを入れると数分で出来上がる。パンも作りたい。土地の粘土を使った陶器作りの計画もある。山に植えた果樹の花は何時見られるだろう。果実の収穫も楽しみにしている。  
(会員 紙田義信)

## 日曜日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。  
お気軽にご参加下さい。

### ◆6月27日(日)

#### 「ほたるの夕べ」の巻

(要申込み 先着30名)

集合/能仁寺山門前 午後7時

持ち物/長靴・懐中電灯

参加費/大人300円 子ども100円

問合せ/申込み先 (042-974-1691浅野まで)



### ◆7月18日(日)

#### 「虫ムシ探検隊」の巻

集合/飯能市郷土館 午前9時

(終了12時頃)

持ち物/長袖・長ズボン・帽子

(蜂対策で黒色避ける)

参加費/200円

問合せ/さいたま緑のトラスト協会

048-824-3661



### ◆8月8日(日)

#### 「名栗川を歩いてみよう」の巻

集合/能仁寺山門前 午前9時半

持ち物/川を歩ける服装(運動靴で)

着替え・飲み物・お弁当

参加費/大人300円 子ども100円



★いずれの場合も雨天中止

共 催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部、はんのう市民環境会議



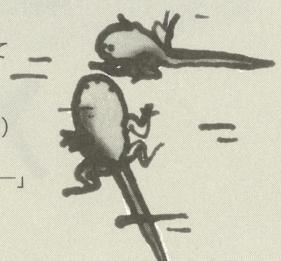
# やませみ

鼓動 合わせて 生きる 次の代も そよぐ 読む 曆を 人知れず  
地と水と陽に 食く ちょうど かく かく かく かく かく  
生きる 次の代も そよぐ 読む 曆を 人知れず  
地と水と陽に 食く ちょうど かく かく かく かく かく



### もくじ

- イノシシの叫び声/高沖義則(はんのう市民環境会議 会員)
- モニタリングサイト1000(通称モニ1000)2年目の調査を迎えて  
「モニ1000植物調査に参加して」/原田恵子  
「アカガエルの卵かぞえ」/山梨光明
- 「里山づくりシンポジウム」を開催/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 天覧山山頂売店閉店に寄せて/秋郷伸一
- 「おいですよ!天(てん)・多(た)の森へ 一パンフレットできましたー」
- 広島の里山で宝物みつけと春のお好み焼き/石岡真由海
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ●編集後記

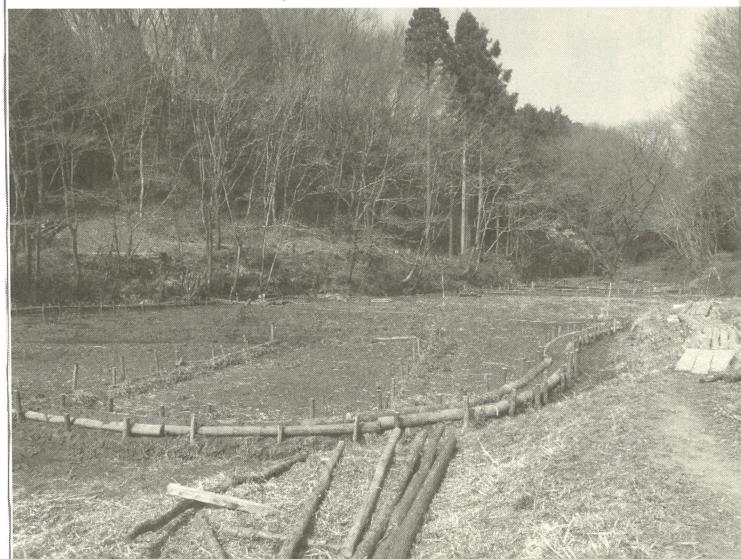


## イノシシの叫び声



谷津田に植えた稻が、イノシシ被害を受けたのは去年のことである。植林前の奥山は、彼らにとって食べ物の豊富な生息圏であった。シカやサルそれにクマについても状況は同じである。その生息圏を人里近くに換えざるを得ない状況をつくったのは、私たち人間であり「俺たちも生きる権利がある。」と、叫び声が聞こえてくるようだ。彼らもサバイバルに必死であり、仮に、この地方に出没しなくなっても、場所を変えるだけだろう。奥山でも、里山でもいい、ほんの一部を彼らの生息圏に戻すならば、危険な思いをして、わざわざ人里に出てくる必要もなくなるにちがいない。環境省の「生物多様性国家戦略」が目指す「100年後の国土のイメージ」を現実のものとするには、すぐにでもこの課題に取り組むべきではないだろうか。

(はんのう市民環境会議 高沖義則)



## モニタリングサイト1000 2年目の調査を迎えて



天覧入りのネコノメソウ

モニ1000植物調査に  
参加して

私が担当する植物調査が始まって1年半がたちます。この調査は、草花の中で、つぼみ、花、実についている物を見つけ、記録する調査で、月に1回、天覧山周辺の同じルートを回ります。1年調べてわかったことは、四季の中で、秋に1番種類が多くなるという事です。夏の花が残り、実や秋の花が加わり種類が多くなるのです。

さて、春から夏さらに秋と、いろいろな草花が次々に咲きます。今年はどんな妖精たちに会えるでしょうか。下を見ながら調査をしていると、何があるのですかと声をかけられことがあります。山を歩いていても、足元の小さな草花は、なかなか目に入りませんが、雑草とひとくくりにされる草花にも、1つ1つ名前があります。今まで気にも留めなかつた小さな草花に、会いに来ませんか。

(会員 原田恵子)

モニタリングサイト1000（通称モニ1000）は、全国1000箇所で行なわれている環境省の自然環境調査です。当会もモニ1000に参加し、さまざまな自然環境調査（植物、カエル、蝶、鳥、カヤネズミ、ホタルなど）を、隨時行っています。



卵を抱えるアカガエル

アカガエルの卵かぞえ

ここ2,3年のことだが、私の年明けはモニ1000のアカガエルの卵塊数を数える調査で始まる。アカガエルの仲間は、1匹の雌がひとつの卵塊しか産まない。その数でエリア内の雌の個体数が推定できるのだ。

この一見地味な調査にも楽しみがある。調査の途中、「ケケケッ」と1匹が鳴き出す。と、途端に「キュキュキュ、キヨキヨキヨ」と大合唱。気付かれないと頭を低くして、声の方に近付く。抜き足差し足忍び足さらにはほふく前進と、あらゆる前進技術を駆使して進む。池には無数のアカガエルが、誰彼かまわず抱きついている。カエル合戦が始まつたのだ。

(会員 山梨光明)

天質山 山頂壳店  
肉店に寄せて

4月初旬天覧山では桜が満開の頃、昭和3年から昨年末まで続けていた天覧山山頂売店「大觀亭」の元店主江島とよ子さんのお宅へ伺った。当時は山中に4軒売店があったが、伊勢湾台風で他の店は閉店を余儀なくされ唯一頑張っていただけに残念だ。現在は更地になっている。

10数年前、先代の江島仁三郎さんがお元気だった頃、一度取材に伺ったことがある。その当時はまだ天覧山周辺の開発計画が進行中で、私たち守る会も予断を許さない状況であった。

今回約一時間お話を伺った中で、茶店での苦労話は尽きなかったが、最後に団地開発中止について触れると「もしかしてここも大河原みたいになっていたのかも知れない。きれいな自然が残って良かった。」と語っていました。

(会員 秋郷伸一)



た島の里山で  
宝のみつけと  
春のお好み焼き

れる一方。でんたの会に山を守る刺激をいただいて  
いる自分としてできることは?将来山のお世話をす  
る人材育成かと大きく構え(その割には年一回だけ  
ですが)地元の子どもたちと山に入つて遊ぶ自然観  
察会をしています。

広島で「やませみ」のデザインをしている石岡真由海です。今号から印刷屋さんが変わり、紙面も少々模様替えていたしました。いかがでしょうか？  
さて、埼玉県から広島にターンして早14年、周囲の里山は高齢化の波と共に荒

そのあとは広場に場所を移して、子供たちが並べてこしらえたかまどの上に巨大なライパンを乗せ、広島ならではの「お好み焼き」を春の野草をたっぷり入れ込んで作り、お腹いっぱい食べました。今度は竹やぶをがんがん切って雑木を育てようかなあ。時間と体力と



こんなところです。  
天・多の森ってこんなところです。

卷之三



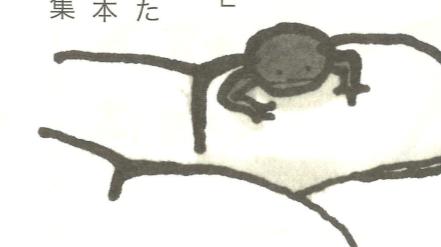
最終的には石岡真田海デザイナーにお任せとなりました  
が、A3版6つ折りのコンパクトでかつ盛りだくさんのパンフレットが五千部できあがりました。当会15年の活動成果を凝縮したような内容ですので、少し字が小さくなりましたが、ご勘弁を。  
自然観察会などのイベントや会議などで配布し、天多の魅力を紹介していきます。欲しい方はふる里散歩などの事業に参加してください。

しかし、いざ総集会講で中身を検討していると、

「歴史・文化的なものも入れたい」  
「四季の自然をバランスよく入れたい」  
「面白い昆虫たちをいろいろ紹介したい」  
「県外からのアクセスも入れよう」  
「会員が増えるように会の活動も紹介したい」などなど、いろいろな意見が出て、本になりました。

写真も百枚以上集まりました。

「天覧山・多峯主山のいろんな自然を紹介したカラーの綺麗な冊子を作りたいね。」  
「谷津田で作業していると、道を聞かれることが多いんだよ。ハイキングコースも分かる地図を入れたいな。」  
そんな会話から、天覧山・多峯主山のパンフレットを作成する事が決まりました。予算は、サイサン環境保全基金助成金を申請したところ、21万円いただけることになりました。



# 市民・行政・事業者による画期的な 「里山づくりシンポジウム」を開催

市は、1年間かけて「天覧山・多峯主山一帯の自然環境調査」を実施し、昨年7月に報告書としてまとめました。はんのう市民環境会議では、その調査報告とそれに基づく保全活動を多くの市民に知っていただく方法を検討していましたが、去る2月21日に飯能市他主催による「里山づくりシンポジウム」として開催されました。

第1部は、「里山の過去・現在そして未来」と題して東京農工大学名誉教授の亀山章氏による講演。第2部に自然環境調査結果の報告。第3部として飯能市、西武鉄道、市民代表、はんのう市民環境会議、そして「てんたの会」がパネラーとなってのシンポジウムを開催。それぞれの立場から保全の取り組みについて発表を行いました。時間不足で充分な討論は出来ませんでしたが、調査報告書に示された豊かな生態系の保てる自然環境を保全しながら、人の手で注意深く管理された里山づくりが必要であるという共通認識ができました。市民と行政・事業者間におけるかつての対立から、協働による新たな活動へと転換した、画期的なシンポジウムとなりました。

(てんたの会 代表 浅野正敏)

